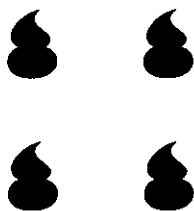


第 4 章

「下剤依存症」からの脱出と

「下剤減量プログラム」



下剤の悪循環を断ち切る

排便力が「まったくくない」状態

この章では、より重症の便秘の人の対策についてご説明していきます。

下剤を1年以上、毎日のように服用していると、次第に便意が弱くなり、最終的には便意がまったくなくなってしまうです。

こうなるとたいへんです。排便力が「弱い」というよりも、もう「まったくくない」状態です。便が下腹部近くにたまってきても、便意が起らないため排便できず、下腹部の張りがどんどん強くなる一方です。このため、より強い、またはより多くの下剤を服用しないとまったく排便ができなくなります。そして、ここまでくると、下剤をやめることができません。急に中止するとまったく排便ができなくなってしまうし、排便できないことへの不安感から、うつ状態うつに陥おちってしまうケースもあります。

では、どのようにすれば、この悪循環を断ち切り、下剤依存症から離脱することができる